

# 市野新田ダム現地説明会を開催

柏崎周辺農業水利事業所 市野新田支所

平成 26 年 7 月 18 日に、関係機関である新潟県、柏崎市、刈羽村の職員を対象として、市野新田ダム現地説明会を開催しました。あいにくの雨模様でしたが、県 4 名、柏崎市 11 名、刈羽村 3 名が参加しました。

まず、右岸天端部において、山田支所長が、挨拶と全体の概要を説明しました。次に、基礎処理試験ヤード付近で、井守係長が、基礎処理の目的や工夫点を説明しました。工夫点として、カバーロック等のリーク対策や、微細亀裂に注入するための超微粒子セメントの使用等が挙げられ、参加者たちは頷きながら説明を聞いていました。

その後、左岸側の仮排水トンネル坑口部へ移動し、壽時係長が、仮排水トンネルの役割、施工順序、構造等について説明しました。参加者からは、覆工コンクリートの打設方法や削孔時の排水対策について質問があったほか、同じ発注者という立場から、安全管理についての質問が複数ありました。

最後に、市野新田ダム建設工事の受注者である(株)フジタの坂元所長から「農政局の協力を得ながら、技術的な課題を解決し、よりよい施設となるよう努力したい」と挨拶があり、現地説明会を終えました。

今後も、柏崎周辺農業水利事業所では、国営事業への理解を広く得ていくため、関係機関にとどまらず、地元住民や、学生等に対しても随時説明会を開催していきたいと考えています。



基礎処理試験ヤードにて説明をする井守係長



仮排水トンネル坑口部での集合写真

(原稿作成：I)